

# 令和6年度 学校評価公表シート

岩見沢めぐみ幼稚園

## 1. 園の教育理念

- ・ 園児一人一人に愛情を持って接する。
- ・ 良いこと悪いことの区別を教える。
- ・ 礼儀作法（特に挨拶）のしっかりした子に育てる。
- ・ 情操教育を通し心の温かい思いやりのある子に育てる。
- ・ 広い自然環境を生かし、自然に親しみ健康な子に育てる。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教諭自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
園の教育方針を理解し、指導計画・月案・週案を計画し、保育を展開している。	園の教育方針・ねらいを教職員が理解し、週1回は会議を行い立案・確認をしている。
幼稚園教育要領の特性を理解し、それぞれの活動に目標を持って指導実践している。	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
毎日の保育の評価・反省を行うとともに、日々子どものかかわりについて振り返り、次からの保育へ活かせるようにしているか。	教諭は日々の記録を行い子どもの実態を把握し、また、各クラスで月や週の目標を定め、月末に達成状況を報告し合うようにしている。
研修の意義と重要性を理解し、専門性の向上に努めている。	各研修会や研究会に参加し学んだこと職員会議などにおいて提供し、共有化を図るようにしている。
子どもが明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わえるような保育をしている。	一人ひとりの子どものよさを認め、教諭が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	登園から降園までの一日の流れのなかで、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。

身近な環境に親しみ様々な事象に興味や関心が持てるような保育をしている。	隣接している公園に散歩に行ったりしながら、季節の移り変わりなどを自ら発見し気づけるように促している。
子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境構成と子どもが主体的に活動し、幼児期にふさわしい体験が得られるよう工夫している。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を整え準備するようにしている。
幼稚園内外での危険場所・場面を確認し、危険を予測する力を身に付け、環境を整えることができている。	教職員は危険マニュアルを参考にし、危険な事例などを分かりやすく子どもたちに知らせるとともに、園舎や園舎周りの環境を点検している。
苦情や要望を積極的に受け止め、保護者や苦情申し出人とより良い人間関係を築くことができるようにする。	行事後のアンケートなどで保護者の声を聞き、敏速に対応するよう心がけている。また、常に職員間で話し合いを持ち解決するようにしている。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>年々少子化が進み園児も少なくなってきたが、その中でも子どもたちが楽しく園生活が送れるように少人数ならでの環境や行事等を工夫した。教諭は例年に引き続き積極的に研修などを行い質の良い保育を心掛けた。自己評価は、例年になく基本的なことの昨年より一人ひとりのポイントが上がり引き続き努力を積み重ねていきたい。保護者アンケートでは、ポイントのばらつきがいられるので、今後は、更に充実した実践ができるように一人ひとりと向き合い、昨年度に引き続き園での様子なども皆さまにお伝えする努力をし、子ども達が安心、安全に遊べる環境を整え、職員一同努力を重ね前進していきたい。</p>

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
支援を必要とする園児	専門機関との連携を図り、研修会などに積極的に参加し、教職員の専門性を高める。
自己点検、自己評価	年度初めに挙げた自己目標を学期ごとに振り返り、改善点を再確認する。
指導計画の編成	新教育要領に基づいた指導計画の作成のために訂正、加筆をさらに加え、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。

## 6、学校関係者評価委員会の意見

### 齋藤 聡 様 (㈱ライフネット社長 元父母の会会長)

職員の皆様は一生懸命頑張っているとの自己評価が高いと思われませんが、まだまだ満足せずに、これでいいんだとならぬようモチベーションを上げ、さらに上の目標を目指せるしつらえが必要であると思います。

また、保護は年長になるにつれ幼稚園の良さ、先生方の頑張りを理解してくれていると思います。

年少さん年中さんでの保護者の自己中心的な考え方が目立つと思いますが、園内の最善を尽くしていることを一人ひとりに周知させることが大切であると思います。

### 山下 門仁 様 (常蔵寺住職 岩見沢めぐみ幼稚園 元父母の会会長)

日頃より、園長先生、副園長先生をはじめ教職員の皆様には園児の皆さんに向き合い幼児教育に対し誠意をもってご指導頂いていることに感謝申し上げます。

時代が移り変わり子どもたちを取り巻く環境の変化、少子化が進む中、教職員の皆様には現状を分析し理解すること、そして父兄の皆様が感じている心配や不安に対して問題意識を共有し、意見交換並びにより良い取り組みに対し協議していただきたいと思います。

父兄の皆様にご理解とご協力をいただきご家庭、幼稚園が共に活動して、子どもたちが健やかに成長出来る環境づくりに期待しております。

### 新川 幸太郎 様 (岩見沢めぐみ幼稚園 元父母の会会長)

日々の先生方のご尽力が良いアンケート結果に反映されており、私も非常にうれしく思っております。

今回アンケートの中にも出て来ておりますが、お遊戯会の際、該当する学年がお遊戯をする際、運動会同様に当該園児の保護者用撮影スペースを設けてははいかがでしょうか。

ステージ横幅と同時に撮影できる保護者数、撮影方法や撮影順、保護者移動の余分な時間等々懸念点はあるかと思われませんが私が保護者席でお遊戯会を見ている際、何度かそういった声を耳にしました。先生方には更なるご負担になることは重々承知しておりますが、今後のお遊戯会で実現できればよいなと感じました。